

先生各位

検査に関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび下記のとおり、検査に関するご案内を申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 新規検査項目

《受託開始日》 令和 元年 5月 13日 (月) 受付分より

《検査要項》①

検査項目名称	肺炎球菌莢膜抗原 髄液
検査コード	7376
JLAC10	5E041-0000-041-190-11
診療行為コード	160201850
検体量	髄液 1.0mL
保存・容器	冷蔵・U2
実施料 (判断料)	204点 (免疫)
所要日数	2～3日
検査方法	イムノクロマトグラフィー法
基準値	陰性
備考	重複依頼不可

保険収載名称：肺炎球菌莢膜抗原定性 (尿・髄液)

保険注釈：肺炎球菌莢膜抗原定性 (尿・髄液) は、免疫クロマト法により実施した場合に限り算定できる。

《検査要項》②

検査項目名称	淋菌 TMA		
	尿	分泌物	うがい液
検査コード	7373	7374	7375
JLAC10	6B610-0000-001-886-11	6B610-0000-085-886-11	6B610-0000-079-886-11
診療行為コード	160164150		
検体量	初尿 2.0mL	—	うがい液 2.0mL
保存	2～30℃		
容器	Q24	Q23	Q25 (=Q24)
実施料(判断料)	204点(微生物)		
所要日数	2～3日		
検査方法	TMA法		
基準値	陰性		

保険収載名称：淋菌核酸検出

保 険 注 釈：ア. 淋菌核酸検出、淋菌抗原定性又は細菌培養同定検査（淋菌感染を疑って実施するもの）を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。
 イ. 淋菌核酸検出は、DNAプローブ法、LCR法による増幅とEIA法による検出を組み合わせた方法、PCR法による増幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、SDA法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法による。淋菌核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体によるものである。ただし、男子尿を含み、女子尿を含まない。なお、SDA法、PCR法による増幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

検査項目名称	クラミジアトラコマチス TMA		
	尿	分泌物	うがい液
検査コード	7378	7379	7380
JLAC10	5E021-0000-001-886-11	5E021-0000-085-886-11	5E021-0000-079-886-11
診療行為コード	160158650		
検体量	初尿 2.0mL	—	うがい液 2.0mL
保存	2～30℃		
容器	Q24	Q23	Q25 (=Q24)
実施料(判断料)	204点(微生物)		
所要日数	2～3日		
検査方法	TMA法		
基準値	陰性		

保険収載名称：クラミジア・トラコマチス核酸検出

保 険 注 釈：ア. クラミジア・トラコマチス核酸検出とクラミジアトラコマチス抗原定性を併用した場合は、主なもののみ算定する。
 イ. クラミジア・トラコマチス核酸検出は、PCR法、LCR法、ハイブリッドキャプチャー法若しくはTMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法若しくは核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法により、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。

《 解 説 》

本検査は、淋菌／クラミジアトラコマチス同時核酸増幅（尿・分泌物・うがい液）【TMA法】と同じ測定原理試薬を用いており、特異性・検出感度等の性能及び各種使用容器、検体採取方法に関しましては淋菌／クラミジアトラコマチス同時核酸増幅と同じです。

● 検査内容変更

《変更日》 令和元年5月13日(月)受付分より

《変更内容》 添付一覧をご参照ください。

《変更理由》 総合研究所実施に伴う検査内容変更

● 検査受託再開

《再開日》 令和元年5月13日(月)受付分より

《再開項目》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称
P.54	2104	B細胞サブクラス(表面免疫グロブリン) IgG
	2187	B細胞サブクラス(表面免疫グロブリン) IgA
	2105	B細胞サブクラス(表面免疫グロブリン) IgM
	2106	B細胞サブクラス(表面免疫グロブリン) IgD
	2107	B細胞サブクラス(表面免疫グロブリン) κ鎖
	2116	B細胞サブクラス(表面免疫グロブリン) λ鎖
P.55	—	リンパ球サブセット検査全般
	6006	急性白血病解析検査(CD45ゲーティング)
	6007	悪性リンパ腫解析検査(CD45ゲーティング)
	6008	細胞質内検査 cyMPO
	6009	細胞質内検査 cyCD79a
	6010	細胞質内検査 cyCD3
	6562	多発性骨髄腫解析検査(CD38ゲーティング)
	6563	細胞質内免疫グロブリンκ鎖・λ鎖

◇ 総合研究所実施に伴う検査内容変更

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.2	0201	ALPアイソザイム	所要日数	2～4日	4～7日
			基準値	成人 ALP2: 35.8~74.0 ALP3: 25.1~59.0 ALP5: 0.0~16.1 小児 ALP2<ALP3 %	ALP2: 36~74 ALP3: 25~59 ALP5: 0~16 %
			報告形態	小数点第一位	整数
			報告書	アイソザイム報告書	画像報告書
P.3	0194	LDアイソザイム	所要日数	2～4日	4～7日
			基準値	LD1: 20.0~31.0 LD2: 28.8~37.0 LD3: 21.5~27.6 LD4: 6.3~12.4 LD5: 5.4~13.2 %	LDH1: 21~31 LDH2: 28~35 LDH3: 21~26 LDH4: 7~14 LDH5: 5~13 %
			報告形態	小数点第一位	整数
			報告書	アイソザイム報告書	画像報告書
P.3	0209	アミラーゼアイソザイム 血清	所要日数	2～4日	4～7日
			報告書	アイソザイム報告書	画像報告書
P.3	0220	アミラーゼアイソザイム 尿	所要日数	2～4日	4～7日
			報告書	アイソザイム報告書	画像報告書
P.4	0235	CKアイソザイム (CPKアイソザイム)	保存条件	凍結	必凍
			所要日数	2～4日	4～7日
			基準値	BB: 0.0~1.8 MB: 0.0~2.7 MM: 95.8~100.0 %	BB: 2以下 MB: 6以下 MM: 93~99 %
			報告書	アイソザイム報告書	画像報告書
P.9	0272	コレステロール分画	所要日数	3～5日	4～7日
			基準値	HDL: 17.1~43.1 LDL: 51.5~75.4 VLDL: 1.8~18.2 %	HDL: 23~48 LDL: 47~69 VLDL: 2~15 %
			報告形態	小数点第一位 ※ LDL/HDL比を報告	整数 ※ LDL/HDL比の報告を中止
			報告書	アイソザイム報告書	分画パターンなし
P.9	0278	リポ蛋白分画	所要日数	2～4日	4～7日
			報告書	アイソザイム報告書	画像報告書
P.29	2393	T ₃ (トリヨードサイロニン)	所要日数	1～3日	4～7日
P.29	2394	T ₄ (サイロキシシン)	所要日数	1～3日	4～7日
P.34	2536 負荷試験 2329~2334	コルチゾール 血清	保存条件	冷蔵	必凍
			所要日数	1～3日	4～7日
P.45	0185	心筋トロポニンT (TnT)	保存条件	凍結	必凍
			所要日数	1～3日	4～7日
P.66	7071	尿中肺炎球菌莢膜抗原	項目名称	肺炎球菌莢膜抗原 尿	尿中肺炎球菌莢膜抗原
P.72・P.130	6237	淋菌/クラミジアトラコマチス同時核酸増幅 初尿	保存条件	2~30℃	冷蔵
			所要日数	2～4日	4～7日

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.72・P.130	6238	淋菌/クラミジアトラコマチス同時核酸増幅 分泌物	保存条件	2~30℃	冷蔵
			所要日数	2 ~ 4日	4 ~ 7日
P.72・P.130	7672	淋菌/クラミジアトラコマチス同時核酸増幅 うがい液	保存条件	2~30℃	冷蔵
			所要日数	2 ~ 4日	4 ~ 7日
P.87・P.129	7062	HCV-RNA定量 アクジーン	保存条件	凍結	必凍
			所要日数	2 ~ 3日	5 ~ 6日
P.85・P.129	6679	HBV-DNA定量 アクジーン	保存条件	凍結	必凍
			所要日数	3 ~ 6日	5 ~ 6日
P.93	1279	CA72-4	所要日数	1 ~ 3日	4 ~ 6日
未掲載	0061	25OHビタミンD【ECLIA】	保存条件	冷蔵	必凍
			所要日数	1 ~ 3日	4 ~ 7日